

<領域：医療的ケア>

医療的ケア

問題 109 次のうち、スタンダードプリコーション(standard precautions：標準予防策)において、感染する危険性のあるものとして取り扱う対象を1つ選びなさい。

- 1 汗
- 2 唾液
- 3 経管栄養剤
- 4 傷のない皮膚
- 5 未使用の吸引チューブ

問題 110 かくたんきゅういん喀痰吸引の実施が必要と判断された利用者に対して、かくたんきゅういん喀痰吸引を行うことに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中は、1時間おきに吸引を行う。
- 2 食後の吸引は避ける。
- 3 入浴時は、その前後に吸引を行う。
- 4 就寝後は吸引を控える。
- 5 ぎょうがい仰臥位を2時間保ってから行う。

問題 111 気管切開をして人工呼吸器を使用している人の喀痰吸引かくたんきゅういんに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 気管カニューレを抜いて、吸引を行う。
- 2 頸部けいぶを前屈した姿勢にして、吸引を行う。
- 3 1回の吸引時間は、20～30秒とする。
- 4 吸引チューブの挿入の深さは、気管分岐部の手前までである。
- 5 吸引を終了した後は、人工呼吸器の作動状況を確認する。

問題 112 胃ろうによる経管栄養の実施手順として、栄養剤を利用者のところに運んだ後の最初の行為として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体位の確認
- 2 物品の劣化状況の確認
- 3 栄養剤の指示内容の確認
- 4 本人であることの確認
- 5 経管栄養チューブの固定状況の確認

問題 113 イルリガートル(注入ボトル)を用いた経鼻経管栄養に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 栄養剤は、半固形化栄養剤を用いる。
- 2 嘔気おうきがあるときは、注入速度を遅くして滴下する。
- 3 イルリガートルに栄養剤を入れてから、2時間後に滴下する。
- 4 栄養剤の液面は、胃から50cm程度高くする。
- 5 使用した物品は、消毒用エタノールにつけて消毒をする。